

アマチュア劇団の熱演に大きな拍手



三回に分けて開催している「前橋演劇祭2006」。アマチュア三劇団が熱演を繰り広げています。一月二十八日・二十九日には、劇団シブパが「法王庁の避妊法」を公演。大正時代末期に活躍した荻野医師の愛と笑い、涙の物語に観客から大きな拍手が送られていました。

ま え ば し シテイ フラッシュ



「近所の公園で遊ぶおじいちゃんや孫の男の子、ゲートボールを楽しむお年寄りたちを見て感じたことを文にしました。見ているわたしも自然と笑顔になり、お年寄りからパワーをもらっ

た気持ちに。若い人と高齢者との共生の大切さを表現しました。作文はあまり得意ではないところで、いったんパソコンでまとめて字数を整えて推こみし、原稿用紙に手書きで清書した。「読む人の興味を引くように書き出しをかきかきこで始めました。また、冒頭と最後を孫と祖父の姿をスケッチしたことでつなげ、工夫したんです」

第十六回長寿社会・私のメッセージ中学生の部で最優秀賞に選ばれた。「学校から帰ると母が受賞の記事が新聞に載っていたと、教えてくれました。初めは本当にわたしのことなのかなあと、信じられない気持ちでした」

受賞作の題は「共に生きる長寿社会」。夏休みにスケッチをするために訪れた公園での光景などを、四百字詰め原稿用紙四枚にまとめた文章だ。「部活はバドミントンをやっています。二年生のときの秋の新人戦、三年生の春・夏の大会と市の大会で三回続けて団体優勝したんです。受験が終わったら、また、ラケットを握り高校でも続けたいな」

若者と高齢者の共生が大切



長寿社会メッセージ県最優秀賞
中島 あゆみさん(15)
光が丘町

子育て講演会場にぎわう

子育てセミナーが二月四日、総合福祉会館で行われました。「子どものこころ」とはの育ち」がテーマで、講師は幼児教育などで知られている中川信子さん。子どもとの交流の大切さなどの話に、四百八十人が熱心に耳を傾けていました。

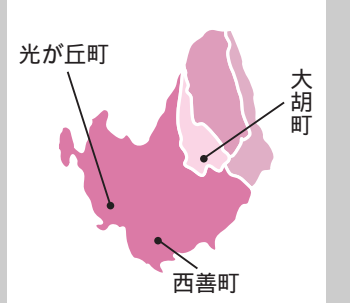


山崎正の世界を紹介



前橋文学館で企画展「山崎正・歌謡曲の世界」が開催されています。本市で活躍し「お富さん」や「前橋音頭」の作詞家として知られる山崎正さんをパネルや文献、レコードなどで詳しく紹介。訪れた人たちが興味深そうにその世界を味わっていました。期間は28日まで。皆さんも足を運んでみませんか。

ふれあい広場



情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。

神楽回しで住民に福を

上川淵地区

一月二十九日、西善町上両家で神楽回しが行われました。これは、明治初期にはやっていた疫病を収めるため、村人が考え出した以来続く伝統行事。今も、家内安全、五穀豊穡、無病息災を願って続けています。



を一軒ずつ回ります。米俵で作った獅子を一人一組で操り、福が舞い込むよう「舞い込めー、舞い込めー」と声高らかに祈願町には、太鼓と笛の音色が響いていました。

ふるさとの歴史語り合い学ぶ

大胡地区



大胡町の町屋敷・蔵で一月二十八日、大胡を語るつどい」が開かれました。ここは昔の蔵を改築し住民の集いの場にした施設で、三十人が参加。昨年十月に続き、今回が二回目です。

町の古い地図や明治時代に作成された資料をたどり、交通の要所としてにぎわう町を支えた商店について学習。当時の栄華を語る講師の話にみんな興味津々で、質問も飛び出し、ふるさとへの愛着も一層深まりました。

参加者は「町の歴史についてみんなで語り合うのも楽しいですね」と話していました。

まちのニュース

特色生かす農業施策を

本日表彰を受ける皆さんの農業に取り組む熱意、努力に敬意を表すとともに、共進会などに入賞された皆さん、誠にありがとうございます。認定農業者には、地域農業のリーダーとして一層の活躍を期待します。

本市は、合併で農業産出額が三百億円を超す全国六位の農業市となりました。国は「食料・農業・農村基本計画」に基づく農業構造改革を予定しています。そのため、市では関係団体などと連携し、地域の実態に即した制度になるよう要望するとともに、国・県の考えも取り入れながら、市の特色を生かした独自の農業施策を進めます。(前橋市農業関係各種共進会等表彰式 二月二日、JA前橋市本所)

